

## 青梅市社会教育委員会議 4 月定例会会議録

日 時

令和 7 年 4 月 1 5 日 午後 7 時から午後 7 時 5 0 分まで

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、塚田委員、神山委員、市川委員、築地委員、  
鈴木委員、鶴岡委員、白井委員、園田委員

(事務局)

平岡課長、柘植係長、橋本主任

### 1 開 会

(委員) 桜が咲いたとあっていたらもう新緑で、スギ花粉もピークを過ぎた。  
本日もよろしくお願ひしたい。

(課長) 4 月の人事異動で、社会教育課にも異動があり、新規採用職員で意欲  
的なのでその気持ちを大切に育ててもらいたい。今年度も行事が  
多々あるのでお力添えお願ひします。

### 2 報告事項

(1) 人事異動について (報告資料 1)

(事務局説明) 教育委員会内の課長以下、社会教育課の係員についても異  
動あり。

(2) 令和 6 年度社会教育委員会議議案事項等記録について (報告資料 2)

(事務局説明) 定例会のほか、都市社連協関係について報告。  
意見特になし

(3) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料 3)

(事務局説明)  
意見特になし

(4) その他

特になし

### 3 協議事項

- (1) 青梅市社会教育委員会議3月定例会会議録について (協議資料1)  
(事務局) 事前に電子メールにて各委員に送付後、指摘があったものについては訂正してお示しした。  
意見特になし…承認

- (2) 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について  
(協議資料2)

- ア 日時 令和7年4月19日(土)午後1時30分から  
イ 場所 町田市民フォーラムホール  
ウ 内容 ・表彰  
・議事(令和6年度事業・決算報告、令和7年事業計画等)  
・講演会

#### エ 出席者

宮野	吉野	塚田	神山	市川	築地	鈴木	鶴岡	白井	園田
—	○	○	—	○	○	—	—	—	—

事務局 橋本

- (事務局) 市役所10時集合出発で、庁用車で会場に向かう。  
直行する委員あり。

- (3) 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員の推薦について  
(協議資料3)

任期 令和7年7月10日から令和9年7月9日まで  
(事務局) 現在は鶴岡委員が任命されている。  
(委員) 続けて鶴岡委員にお願いしたい。  
鶴岡委員了承、決定

#### (4) その他

- (委員) 美術館運営委員会は、次回は4月に行なう予定だったが、6月に変更となり、欠席の予定。  
(委員) 美術館の改修は今年度末までか。  
(課長) さらに次年度までかかる予定。  
(委員) 庁舎2階食堂は休止中とのことだが、今後はどうなるか?  
また、航空学園の生徒たちは帰還するのか?  
(課長) 航空学園はまだしばらく青梅にいると聞いている。  
(委員) 1年経過して慣れてきた頃、どうなるのか市民として心配している。  
(課長) 続報があれば改めてお知らせしたい。庁舎2階のカフェについては

たしかに必要と思っているものの、今現在確認がとれていないため続報があれば改めてお知らせしたい。

(委員) カフェについては、来庁者も昼食時のほかに軽くお茶を飲むなどの利用者がいる程度いたと思う、利用者は残念だと思っているので新たな事業者等の決定を希望したい。

(委員) この3月に市民活動ボランティア団体の集まりが社会福祉協議会の主催で開催されたが、そのときに福祉センターが来年の3月で閉鎖すると初めて聞き、今まで利用していた団体は突然のことで困ると騒然となった。代替案は何か聞いているか？

(課長) 担当部署からは、今年度で閉鎖ということは聞いている。社会教育関係以外にいろんな団体に関係する話である。代替施設建設の計画もあり、ボランティアセンターも活用するという話も聞いているが規模的には不足だと思う。社会教育課としてはたまぐーが空いていれば利用していただきたいと思っているが、既存団体との兼ね合い等難しい面もあり、その他諸所の問題について市役所内で同様に施設を管理している部署同士での話し合いは開始されている。

(委員) ボランティアセンターに関する運営委員だが、とにかく会場が使用不可となることについてどうするかについて話し合った。その中で市民センターの休館日をセンターごとにずらして利用できない日を無くすと良いという意見も出ている。

(課長) 青梅市の内部でどの課が主導するかは決定していないものの、本日いただいた意見は関係部署で共有し、利用者の意見を反映した解決法に結び付けたい。

(委員) 利用者としては不安な状態なので、少しでも進展があれば、そのつど経過を教えていただくと安心する。

(委員) 複合センターができる9年先まで不足が続くのか。とにかく青梅市内の諸団体の活動場所は来年の4月以降今まで福祉センターを利用していた分がそのまますっかり無くなるという事実について、それを市民に明確に伝えることで市民からも良い案がでるかもしれない。

(委員) 行政には、迅速に市民に伝え、市民に活動を保障する義務があると考え、年次ごとの青写真をつくるべき、それをもって市民に投げかけてほしい。今の状態では後手に回っているのではないか。市民の活動権の奪取を行なってはならないと思う。

(委員) 来年度当初から状況が変わり、それまでに混乱のないように整理しなければならないという、問題の規模に比して時間が限られるので早急に進めてほしい。

(課長) 本日の話を持ち帰って関連部署に伝えることとしたい。

(委員) 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員の会議が3月21日に行なわれたので報告したい。まずは年間報告について事務局から詳細な説明があった。主な内容として、令和6年度は実施日数・参加児童数ともに

増えた。大きなけがの発生はなかったとのこと。コロナ禍で遊びや運動など子どもの生活と行動に制限のあった令和4年と令和5年は保険適用の怪我の発生があったという。令和6年度について、怪我が減っているということではない。同じ場で同じように行動していても大けがになっていないというのは、大人も子どもも生活の制限がなくなり体力やリスク対応の力がついてきたためかという意見があった。また、地域性を反映し、学校によって運営の内容が異なっていることを確認した。学童保育クラブとの関係も学校によってさまざまである。また、中学生のボランティアについての考え方が異なることについても意見交換した。活動として認める学校から、ただの遊びの延長と捉えている学校もあり、差が激しい。活動者が少ないという継続した悩みについても意見交換した。

- (委員) 中学生の活動の重要性については学校で理解してもらいたいと思う。
- (委員) 人とのつながりはとても大事だと思っている。
- (委員) 私の活動地域では、中心となる活動者の年齢は自分が最も若いくらいだが、たまに若い大学生がくると子どもたちからは大人気である。やはり少しのことでも自然に動けるからかと思う。
- (委員) 「部活」なら見方が変わるという学校もあるようだ。
- (委員) ボランティアは自分の経験を活かすものだから、遊びでも、勉強でもその人の持っているものを表現すればいいと考える。相互扶助の精神が重要だと思う。職場体験が単なる課題になっていると感じることもある。
- (委員) 青梅駅前に図書館等が建設される予定だが、道路を隔てた向かいの更地になったところはどうなるか。
- (委員) 所有者・業者は不明だが建物を建てる計画はあると聞いたことがある。
- (委員) 長淵に新しくできるスポーツ施設はどこが所管か。
- (課長) スポーツ推進課で、総合体育館と同じ指定管理者による管理とのこと。

#### 4 その他

##### 配布物

- ・よつばの手紙
- ・生涯学習だより
- ・人権啓発学習資料「みんなの幸せを求めて」